

平成24年6月高浜市議会定例会会議録（第4号）

日 時 平成24年6月15日午前10時

場 所 高浜市議事堂

議事日程

- 日程第1 議案第38号 高浜市児童遊園等の設置及び管理に関する条例の一部改正について
議案第39号 高浜市介護保険・介護予防の総合的な実施及び推進に関する条例及び
高浜市居住福祉のまちづくり条例の一部改正について
- 日程第2 議案第40号 平成24年度高浜市一般会計補正予算（第1回）
議案第41号 平成24年度高浜市土地取得費特別会計補正予算（第1回）

本日の会議に付した案件

議事日程のとおり

出席議員

1番	磯田義弘	2番	黒川美克
3番	柳沢英希	4番	浅岡保夫
5番	柴田耕一	6番	幸前信雄
7番	杉浦辰夫	8番	杉浦敏和
9番	北川広人	10番	鈴木勝彦
11番	鷲見宗重	12番	内藤とし子
13番	磯貝正隆	14番	内藤皓嗣
15番	小嶋克文	16番	小野田由紀子

欠席議員

なし

説明のため出席した者

市	長	吉岡初浩										
副	市	長	杉浦幸七									
教	育	長	岸上善徳									
企	画	部	長	加藤元久								
人	事	グ	ル	ー	プ	リ	ー	ダ	ー	野口恒夫		
地	域	政	策	グ	ル	ー	プ	リ	ー	ダ	ー	岡島正明
経	営	戦	略	グ	ル	ー	プ	リ	ー	ダ	ー	山本時雄
総	務	部	長	大竹利彰								

行政グループリーダー	内 田 徹
財務グループリーダー	竹 内 正 夫
情報グループリーダー	時 津 祐 介
市民総合窓口センター長	新 美 龍 二
市民窓口グループリーダー	木 村 忠 好
市民生活グループリーダー	山 下 浩 二
税務グループリーダー	森 野 隆
福 祉 部 長	神 谷 美百合
福祉企画グループリーダー	磯 村 和 志
地域福祉グループリーダー	杉 浦 崇 臣
介護保険グループリーダー	篠 田 彰
保健福祉グループリーダー	加 藤 一 志
こども未来部長	神 谷 坂 敏
こども育成グループリーダー	大 岡 英 城
文化スポーツグループリーダー	内 藤 克 己
都 市 政 策 部 長	深 谷 直 弘
都市整備グループリーダー	平 山 昌 秋
都市防災グループリーダー	芝 田 啓 二
上下水道グループリーダー	竹 内 定
地域産業グループリーダー	神 谷 晴 之
会 計 管 理 者	橋 本 貞 二
学校経営グループリーダー	中 村 孝 徳
学校経営グループ主幹	梅 田 稔
監査委員事務局長	鶯 殿 巖

職務のため出席した議会事務局職員

議 会 事 務 局 長	松 井 敏 行
主 査	杉 浦 俊 彦

議事の経過

○議長（北川広人） 皆さん、おはようございます。

本日も円滑なる議事の進行に御協力のほどお願い申し上げます。

午前10時00分開議

○議長（北川広人） ただいまの出席議員は全員であります。

よって、これより会議を開きます。

お諮りいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（北川広人） 御異議なしと認めます。

よって、本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定いたしました。

これより本日の日程に入ります。

○議長（北川広人） 日程第1 議案第38号及び議案第39号を会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるかをお示しいただきますようお願いいたします。

11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） 議案第38号のほうで遊園等の管理に関する条例の一部改正ということで、論地子ども広場を廃止するに当たって、近隣の方に意見を聞いているのかどうか、ちょっと教えていただきたいんです。

○議長（北川広人） 都市整備グループ。

○都市整備G（平山昌秋） おはようございます。

4月14日に論地町町内会のほうで、高浜市の持っている子ども広場、論地子ども広場なんですが、そこを廃止するというのでお伺いをしています。その中で、いろいろな面が入ってきましたところ、了解を得ているんですが、その中で、今回廃止するに当たり、今現在やっている夏休みのラジオ体操、それとあと拠点の部分がそこでやっているということをお聞きされて、それをどういうふうにするかということ町内会のほうから聞き取りをやりました。その後、その部分につきましては、今回、この部分の論地子ども広場の跡の利用につきましては、小規模特養という地域密着型の小規模特養がありますので、地域密着型ということで、以前のごみの拠点、それとラジオ体操等を含ませまして、今の現小規模特養になるところにやったらどうかという話を今後していきたいと考えております。

○議長（北川広人） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） 近くの人に聞いてみたんですけども、廃止するという事は聞いていないというふうに聞いていますけれども、こういう説明会もちょっとお願いしたいというふうに考えて、それを。

○議長（北川広人） 都市整備グループ。

○都市整備G（平山昌秋） 先ほど言いましたように、4月14日に論地町の理事ないし役員の方と接触させていただきまして、御説明させていただきました。その中で、一応理事の方も含めて、地元のほうには周知するというのを聞いておりますので、そういった面で御理解をお願いしたいと思っております。

○議長（北川広人） ほかに。

ほかに質疑もないようですので、これをもって議案第38号及び議案第39号の質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第38号及び議案第39号につきましては、会議規則第36条第1項の規定により、お手元に配付してあります議案付託表のとおり、各常任委員会に付託いたします。

○議長（北川広人） 日程第2 議案第40号及び議案第41号を会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるかと、ページ数及び款・項・目・節をお示しいただくようお願いいたします。

1番、磯田義弘議員。

○1番（磯田義弘） おはようございます。

では、議案第40号、補正予算書及び説明書の28、29ページ、2款1項3目市民活動支援費、市民活動運営事業補助金、コミュニティ助成事業補助金についてお尋ねいたします。

まず、助成対象団体の要件、それから2番目に、本市では助成対象団体をどのように決めているのか、3番目に、ほかにどのような事業が助成対象になるのか、わかる範囲でお願いします。

○議長（北川広人） 地域政策グループ。

○地域政策G（岡島正明） まず、第1点目の助成対象団体の要件ということでございますけれども、助成対象団体の要件につきましては、市区町村、広域連合、一部事務組合及び地方自治法の規定に基づき設置された協議会ということになっております。

2つ目の質問ですけれども、本市ではどのように助成団体を決めていくのかということですが、本助成事業につきましては、地域の自主的な活動に対して市が間接補助を行っているものでございまして、現在のところ、市民予算枠事業というのを活用していただいている団体、まちづくり協議会とその構成団体及び市民広域活動団体の事業の中からニーズ等々を把握して、関係団体と協議して申請を行い、今回の場合はその決定通知を受けましたので、補正予算に計上させていただいたところでございます。

最後に、ほかにどのような助成事業があるかということでございますけれども、8つの種類がございまして、その概要でございますが、地域のコミュニティーの活動を促進を図るためという

ことでハード面とソフト面に対する一般コミュニティーの助成事業と、コミュニティーセンターの助成事業、そのほかに、住民が自主的に結成した防災組織を育成するための地域防災に対する育成事業、青少年の健全育成のための助成事業、地域共生の地域づくりのための助成事業、地域の芸術環境づくりのための助成事業、多文化共生のための地域国際化推進事業、活力ある地域助成事業、以上8つの事業がございます。

○議長（北川広人） 1番、磯田義弘議員。

○1番（磯田義弘） ありがとうございます。

そうしますと、この申請は、市でも、あるいは今言われた町、当市でいうとまち協単独でも申請ができるのか、申請が可能なのか。それと、この事業は、収入財源の関係で、その表示とか広報が必要になると思いますけれども、その費用に関してはこの予算の中に含まれているのか。また、今回、それはどのように対応されるのか、お尋ねします。

○議長（北川広人） 地域政策グループ。

○地域政策G（岡島正明） 申請は、市でもまち協単独でも可能かということですが、申請は市でしか行えないということになっております。

この事業の広報に係る費用はということですが、今回の補正予算の中に、宝くじの普及用のシールといたしまして2万1,000円を計上させていただいております。また、具体的な宝くじの普及の啓発でございますけれども、具体的には、購入備品に対して宝くじの広報シールを張るということと、整備の概要を広報に掲載するということを考えております。

○議長（北川広人） ほかに。

12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 議案第40号でお願いします。やっぱり28、29ページですが、25ページの歳入ともかかわってくるんですが、29ページで母子家庭高等技能訓練促進費というのが146万4,000円ありますが、これは歳入のほうで母子家庭自立支援給付金事業費補助金というのが132万3,000円入っていますが、これと同じなのかどうか。また、詳しい内容をお示してください。

○議長（北川広人） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（杉浦崇臣） ただいま内藤議員の御質問のとおり、歳入のほうは、母子家庭自立支援給付金事業費補助金、4分の3のものです。これが132万3,000円、これの歳出というものが言われました高等技能のほうのものでございます。146万4,000円のもんです。ただ、4分の3ということなんですが、実はこの歳出のほうを146万4,000円組んでおりますが、これとは別に4月から申請がありまして支出をしておりまして、その4月から6月分につきましては予備費充用ということで30万円組んでおります。これを足しますと176万4,000円になりまして、その4分の3ということになりますと132万3,000円になりますので、よろしく願いいたします。

（「詳しい内容は」の発言あり）

○議長（北川広人） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（杉浦崇臣） この母子家庭高等技能訓練促進費につきましては、母子家庭の母親が看護師とか介護福祉士とか、そういった資格取得のために2年以上の養成機関で修業する場合に、修業期間中の生活費の負担軽減のために、この高等技能訓練促進費を支給するものでございます。

○議長（北川広人） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） わかりました。

これは、以前にもこんなような、ちょっと名前まであれなんですけど、出されていたことがあるかと思うんですが、それと同じというような内容でいいのかどうかということをお示しいただきたいというのと、それから新保育モデル調査委託料というのが50万円入っていますが、これは何か事業所内保育を調査するというようなお話があったというふうに思うんですが、どのような事業所が、要するに当てがあるのか、あるとしたらどのようなところがあるのか、そういう点でお示してください。

○議長（北川広人） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（杉浦崇臣） まず、母子家庭高等技能訓練促進費が以前のものと同様かどうかということなんですけど、実はこの事業につきましては、21年11月に市のほうで制度を設けさせていただきまして、21年と22年度、実績がございました。ただ、23年度につきましては実績が一切ございませんでしたので、今回、24年度当初予算では計上するのを見送ったわけですが、そうしたところ、24年4月に申請がございましたので、今回補正で上げさせていただくものでございまして、内藤議員おっしゃるとおり、以前のものと同様のものがございますので、よろしくお願いたします。

○議長（北川広人） こども育成グループ。

○こども育成G（大岡英城） 新保育モデル調査事業の内容から、まず御説明させていただきたいと思います。これは、県が、新保育モデル調査事業といたしまして、3歳児未満の子どもを持つ保護者が、勤め先、事業所ですね、こちらの中で事業所内保育所を実施したいという意向があるかないか、その手法として、また家庭的保育の手法を使って実施ができるかどうかということをお示しいただきまして、具体的には、私ども、30人から50人以上の企業さんに対して調査をかけるものでございまして、具体的に事業所内保育をやっておるところに対しての調査ということではございません。

○議長（北川広人） ほかに。

5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） ページ24、25の13款2項3目の国庫補助金の関係なんですけれども、在宅医療の。以前、事業者の公募を行うということで聞いてはおりますけれども、実際何件の公募が

あったのか。それとあと、選定をしていく理由、事業者の決定の理由ですね、そういった何を基準に決定していくのか、そこら辺のことをちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（北川広人） 保健福祉グループ。

○保健福祉G（加藤一志） 今回の国庫補助金については、在宅医療連携拠点事業ということで、高浜市が実施主体となって、歳出で組んでおります在宅医療連携拠点推進事業を行う。この国庫補助10分の10でありますので、国庫補助分については今回は在宅医療連携拠点事業の分ということで御了解いただきますようお願いいたします。

○議長（北川広人） ほかに。

12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 私もその在宅医療の関係でお聞きしたいと思いますが、これ、主要・新規事業のほうを見ますと、症例検討会とか研修会とか、いろいろ今後の予定も書いてあるんですが、市民はどのようにかかわっていくのかというのと、モデル事業というお話でしたが、幾つぐらいの自治体がモデル事業として、ほかにもやってみえると思うんですが、やってみえるのかということと、その点、まずお示してください。

○議長（北川広人） 保健福祉グループ。

○保健福祉G（加藤一志） 今回のこの事業につきましては、国のモデル事業であります。会議の持ち方につきましてはモデル事業の手順書というものが国から示されておりまして、医療関係者、介護関係者の多職種の連携で協議をするということになっております。いわゆる供給側と一緒に会議を持って、それとともに考えていくというものが国の手順書で示されておりますので、今回についてはこういった専門職の方に会議を行っていただきます。

そして、全国で幾つかという御質問ですが、これは全国で105団体が応募され、予定されております。

以上です。

○議長（北川広人） ほかに。

11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） 補正予算の31ページです。この土地購入費、小規模特養の用地の関係なんですけれども、先ほども触れましたが、論地子ども広場はどういった経緯で土地取得できたのか、御説明ください。

○議長（北川広人） 都市整備グループ。

○都市整備G（平山昌秋） 3月補正で論地子ども広場の補正を組ませていただいて、用地を買っております。ただ、今までは論地子ども広場として、平成5年から借地でずっと継続して、今、借地をやって公園を維持していたわけなんですけど、今回、地主様のほうから買ってほしいという依頼がありましたものですから、今回、3月補正で購入しております。その後、今年度、6月補

正の中で1億403万3,000円、この部分を一般会計のほうから、今、特別会計、土地特会が持っておりますので、その部分をこちらのほうに一般会計のほうで買っていただくという状況でございます。

○議長（北川広人） ほかに。

3番、柳沢英希議員。

○3番（柳沢英希） 補正予算説明書の28、29ページ、歳出の4款1項3目の部分であります。先ほどの在宅医療連携拠点推進事業についてなんですけれども、新規事業のほうを見ますと、講演会が来年の2月から3月ぐらいの予定とありますけれども、講師の方が決まってみえるのかと、あと、やる場合、こういった形でこういった段階に周知をかけて参加してもらえるのかということを出していくのか、教えていただきたいと思います。

○議長（北川広人） 保健福祉グループ。

○保健福祉G（加藤一志） 講演会の講師については、まだ決定をしておりません。ただ、国のほうの手順書の中で、こういった在宅医療連携拠点事業の実施に当たり、地域住民への普及啓発ですとか、在宅医療に従事する人の人材育成、こういった部分もありますので、ここの部分も踏まえて実施をしていきたいと考えております。

○議長（北川広人） ほかに。

12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 29ページですが、家庭児童相談事業のところでは児童虐待防止事業の委託料が300万円出ていますが、高浜市で今現在、虐待の、ひどいといいますか、そういう事例があるのかどうか。それから、委託料として使うということは、これはどのような使い方をするのかということか、ちょっとその点をお示してください。

○議長（北川広人） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（杉浦崇臣） まず、虐待の重篤事例のケースですが、今のところはございません。ただ、やはり今、高浜市としては早期発見・早期対応に努めておりまして、確かに相談件数等は非常に22年度から23年度ふえておりますが、そういった重篤ケースは今のところございません。また、それに、いずれ重篤につながっていきそうなケースにつきましては、早期対応ということで、一時保護ですとか施設入所等、児相と連携して行っておりますので、特に今のところはございません。

それと、もう1点、使い方についてでございますが、まず児童虐待防止の研修会、これも専門職向けと、あと民生・児童委員、それと一般市民向けを想定しております。それをまず計10回程度、開催を予定しております。それと、児童虐待防止マニュアルの作成ということで、やはり先ほども言いましたように早期発見・早期対応、そちらをまず現場の職員等にもわかっていただくために、そういった専門職向けのマニュアルを作成したいと思っております。それと、もう1点、

市民の方に広く虐待防止に向けた周知をするために、児童虐待防止の啓発活動を民生・児童委員の方に御協力いただいで行っていこうというふうに考えております。

以上です。

○議長（北川広人） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） わかりました。

ちょっともう一つ、次に31ページの先ほど出ました土地購入費の問題ですが、子ども広場の隣に県道が今できているんですが、その県道との間の、金網で囲っている広場と県道との間の土地や何かについてはどのようになるのか、そういう点、ちょっと詳しくお示してください。

○議長（北川広人） 都市整備グループ。

○都市整備G（平山昌秋） 論地子ども広場の隣にある、今、基金が持っている土地なんですが、今回、財産を一般のほうに普通財産のほうに渡すときに、土地特会のほうに予算を、契約して、それを今回、一般財産のほうに持っていくわけなんですが、面積には、今、吉浜棚尾線の今工事をやっている部分、これにつきましてはもう県のほうに売却はしております。隣接の隣のほうにつきましては、その部分については、今回の1億400何万円の中の分の中に含まれておる部分、合計が1,607㎡と、それと459.8㎡、合わせたものが今回の分の用地の分でございますので、よろしくお願いたします。

○議長（北川広人） ほかに。

11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） 土地取得費特別会計のほうなんですけれども、41ページです。この3,111万5,000円、土地購入費というふうになっていますけれども、先ほどの土地の関係なんですが、ちょっと教えてください。

○議長（北川広人） 都市整備グループ。

○都市整備G（平山昌秋） さっきの公園とはちょっと別なんですけれども、この今の3,111万5,000円というのは、先ほど言いました土地開発基金で持っている土地を新たに土地取得費特別会計が購入するというので、このところに予算化させていただいておるものでございます。面積的には459.8㎡でございます。よろしくお願いたします。

○議長（北川広人） ほかに。

ほかに質疑もないようですので、これをもって議案第40号及び議案第41号の質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第40号及び議案第41号については、会議規則第36条第1項の規定により、お手元に配付してあります議案付託表のとおり、各常任委員会に付託いたします。

○議長（北川広人） 以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

お諮りいたします。

常任委員会の開催により、6月16日から6月26日までを休会といたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（北川広人） 御異議なしと認めます。

よって、6月16日から6月26日までを休会とすることに決定いたしました。

再開は、6月27日午前10時であります。

本日は、これをもって散会といたします。御協力ありがとうございました。

午前10時26分散会
